

第 89 回機器・配管系検討会 議事録

1. 日 時 2024 年 9 月 27 日（金）10 時 00 分～11 時 16 分
2. 場 所 一般社団法人 日本電気協会 4 階 D 会議室（Web 会議併用）
3. 出席者（順不同，敬称略）

出席委員：中村主査(東京都市大学)，古屋副主査(東京電機大学)，野元幹事(関西電力)，
行徳副幹事(日立 GE ニュークリア・エナジー)，藤田(東京電機大学)，
上屋(日本原子力発電)，河本(北海道電力)，大江(東北電力)，
波木井(東京電力 HD)，久保田(中部電力)，辰尾(北陸電力)，
田村(ワイロテックソリューション)，森田(四国電力)，森(九州電力)，大口(電源開発)，
川幡(東芝エネルギーシステムズ)，工藤(富士電機)，齋藤(電力中央研究所)，
宮崎(日本原子力研究開発機構)，酒井(電力中央研究所)，石丸(中国電力)
(計 21 名)

代理出席者：呉(三菱重工業，松岡委員代理)，小出(原子燃料工業，小関委員代理)
清水(関西電力，黒川委員代理) (計 3 名)

常時参加者：なし (計 0 名)

オブザーバ：日比野(原子力規制庁) (計 1 名)

説明者：なし (計 0 名)

欠席委員：なし (計 0 名)

事務局：美濃，田邊(日本電気協会) (計 2 名)

4. 配付資料

資料 No.89-1 第 88 回機器・配管系検討会 議事録（案）

資料 No.89-2 SA-JEAG 改定検討工程，検討項目

資料 No.89-2 別添 JEAG4601-2015 [2016 年追補版]（改定関連箇所マーク付）

資料 No.89-3 耐震規格類の活動計画における「活用を見込む国内外研究成果等」について

5. 議事

事務局から，本検討会にて私的独占の禁止並びに公正取引の確保に関する法律及び諸外国の競争法に抵触する行為を行わないことを確認の後議事が進められた。

(1) 資料の確認，代理出席者・オブザーバの承認

事務局から配付資料の確認の後，代理出席者 3 名の紹介があり，分科会規約第 13 条（検討会）第 7 項に基づき主査の承認を得た。確認時点で出席者は代理出席者を含めて 21 名で，検討会決議条件である分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づく，委員総数 24 名に対し決議に必要な「委員総数の 3 分の 2 以上の出席(16 名以上)」を満たしていることを確認した。その後オブザーバ 1 名の紹介があり，分科会規約第 13 条（検討会）第 11 項に基づき，主査の承認を得た。

(2) 前回議事録（案）の確認

事務局から資料 No.89-1 に基づき、前回議事録（案）の紹介があった。出席者のうち説明者として記載されていた一部の方が委員であった可能性のご指摘があったため、確認し修正したうえで正式議事録にすることについて、分科会規約第 13 条（検討会）第 15 項に基づき、挙手及び Web の挙手機能にて決議の結果、出席委員の 5 分の 4 以上の賛成で承認された。

(3) 委員変更の紹介

事務局より、今回委員の変更はないことが紹介された。

(4) SA-JEAG 改定方針について

行徳副幹事及び森委員より、資料 No.89-2 及び資料 No.89-2 別添に基づき、SA-JEAG 改定方針について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 資料 No.89-2 の可搬型車両の設計の考え方（4/10 頁）において、発電機内及び内燃機関等を取付ボルトで固定するとあるが、取付ボルトでの固定がマストであるという意図での記載なのか。取り付けに溶接やフックを用いている場合は、取付ボルトに変更すべきという意図か。
- そうではない。車両型設備は多種多様であり加振試験実績も 300 台ほどある中で、取り付け方法がすべからずボルトということはないし、固定方法を限定する意図もない。そのため、当該の記載には「等」を付ける方向で検討したいと考える。
- ・ 本件に関しては各委員で資料を確認し、意見があれば行徳副幹事及び事務局に意見をお願いする。

(5) 活用を見込む国内外研究成果等について

行徳副幹事より、資料 No.89-3 に基づき、活用を見込む国内外研究成果等について説明があった。

主なご意見・コメントは下記のとおり。

- ・ 作業会で進めることについては理解したが、作業会で研究内容を報告する位置づけというのは、JEAC4601 にどのような項目を取り込むかをある程度見通しを付けるというものか。
- そのとおり、次の規格の改定に向けての見通しを得るためのものである。改定時にはその根拠も公開なものとして提示する必要があるし、議論も公開のデータに基づいて実施する必要があることから、そのデータは検討会でも提示していくものでないといけないと思っている。作業会では公開情報には限らず、今どのような研究が進んでいて、将来何が出てきそうなのかということについて、改定作業を行う内容の見通しを得るための作業になると考えている。その中で検討会の委員にも広く入って頂いて、認識共有をする場として使いたいと考えている。

- ・ 具体的な改定の段階になれば、公開できる範囲でかまわないが、規格の根拠になった情報は何なのかということを検討会で説明頂きたいと考えているが、いかがか。
- そのとおり、規格の前提となるデータは公開で議論できるものでないといけない。非公開の作業会ではあるが、逆に規格改定時に必要となる公開データを明確化するのに役立つと考える。
- 作業会はアンダーグラウンドで進めることを意図するものではないことを明確にしたい。今後、検討会や分科会の活動状況は規格委員会のタスクでも報告していくが、その際にも疑念のない表現とする必要がある。
- ・ 資料 No.89-3 に従い、作業会の中で今後改定に必要となる項目等の調査を行うということで進めることとする。

(6) その他

次回の機器・配管系検討会開催は別途調整し、事務局より連絡する。

以 上